

団体名	事業等の名称	事業実績の概要				交付決定 年月日	交付金額 (単位:円)
		事業の目的	事業の実績	事業の成果	事業実施団体による自己評価		
HOPE. S	さがみはらエコアクション2011	地域と学生をつなげることを目的とした事業の一つとして、まず今夏、東日本大震災の影響で、電力事情が懸念されていることから、環境政策を勉強する学生たちが、中央地区の子どもたちと一緒に自然エネルギー(太陽光発電)を使った行灯製作(組立てと絵を描いてもらう)を行うことで、大学生が地域に係る場を提供するとともに、子どもたちに環境への関心を深めてもらうことで、青少年の健全育成を図る。	7月4日 節電講座&エコ行灯の絵を描こうワークショップ 7月24日~8月9日 エコ行灯の枠組み作成 8月19日 前日準備 8月20日 第35回ふるさとまつりでの催し 3月17日 実績報告書	計画停電が実施される中で約30名が参加したエコ行灯の製作は、地域の子どもたちにエコに対する興味をもたせることができたのではないかと考えている。また、ふるさとまつりで大学生が企画したイベントを発表できたことは、我々学生にとって地域とつながる良い結果を生み出したのではないかとと思う。事実、その後に行われた中央公民館まつりや単位自治会でのイベントにも大学生が参加できる場を提供していただき、学生が地域と関わるきっかけづくりができた。	エコ行灯の製作は、東日本大震災で被災されたかたへの思いと我々の生活に直結する電気の問題、そして、大学生が地域活動に参加するきっかけづくりというコンセプトで企画した事業であった。製作には思った以上に労力を要したこと、子どもたちに1個づつ1から製作してもらうことを考えていたが、行灯に描く絵に時間を要したことは、次年度以降の課題としたい。企画そのものについては、大学生と地域をつなげることができたのではないかとと思う。	H23.6.29	350,000
中央地区版広報編集委員会	中央地区版広報発行事業	地域住民に自治会の活動や地域活動団体の活動内容等を掲載した地区版の広報紙を発行することによって、自治会、地域活動団体が所有する情報を共有しながら活動内容を周知するとともに、新たな担い手の発掘を行うことを目的とする。	中央地区における活動団体の紹介や中央地区に関する情報を掲載した中央地区広報紙を、8500部/1回×4回/年発行した。	中央地区で活動する団体の活動内容や、中央地区のまちづくりに関する情報を一つにまとめ掲載した広報紙を発行することによって、幅広い団体の活動内容の紹介と中央地区のまちづくりに関する情報を提供することができた。	地区内で活動する団体は、それぞれ個々に「広報紙」を発行してきたが、それを一つにまとめた広報紙を発行することによって、中央地区のまちづくりの統一性をもたせるとともに、それぞれの情報を一つの紙面で一括した情報を提供することによって、中央地区で活動する団体が相互に活動状況を知ることができ、お互いに連携を深めることができた。	H23.6.29	800,000
弥栄小学校おやじの会	被災地体験「学校に泊まろう」	子どもたちに、大規模災害の発生時に必要となる知識と技術を学んでもらうと共に、周囲の人を思いやる気持ちを育む。	参加者60名 (1)夜間宿泊体験訓練 (2)高所救助車の体験搭乗 (3)炊き出し訓練	(1)高所救助車の体験搭乗 普段体験することのない、高所救助車に搭乗し、ハーネス(安全带)を装着して、救助搭乗を体験した。 (2)学校にある防災倉庫の見学 参加者の中には、自治会が主催する防災訓練に参加したことがなく初めて防災倉庫を見学し、比較的備蓄物品があることに興味したという声が聞かれる一方で、決して十分な量ではないという声も聞かれ、自宅での備えの重要性を感じたという声も聞かれた。 (3)炊き出し訓練 炊き出し訓練では、炊飯を行ったが、食べ残しが多かったためレトルトカレーを準備したが、実際に被災した状況でレトルトカレーは、贅沢であるとの意見も聞かれた。	3月11日に発生した、東日本大震災時の各自の状況を話し、当日の学校の対応、帰宅困難になること、家族との連絡がつかなくなることなど、あたりまえのことが、普段の日常生活の中で忘れがちになっていることが多かった。家族同士での話しあいをしておくことが大切であるとの認識をした。反省点としては、自治会からの参加者も少なく案内不足であった。	H23.8.15	114,000

団体名	事業等の名称	事業実績の概要				交付決定 年月日	交付金額 (単位:円)
		事業の目的	事業の実績	事業の成果	事業実施団体による自己評価		
もみの木コンサート 実行委員会	第10回記念もみの木コ ンサート	中央地区住民の「心のふれあい・共助・ 支えあい」の意識を高めるとともに、子 ども会や自治会の魅力づくりを行うこと で子ども会への参加や自治会への加 入促進につなげることを目的とする。	地域内の学校である中央小、富士見 小、弥栄小学校、中央中学校、弥栄中 学校、弥栄高等学校の児童生徒及び、 隣接する横山小学校の児童、県立相模 原高校も特別出演していただき合唱を 行い地域住民に聞いていただいた。 また、地元、中央小学校出身で、現在 ベルリン(ドイツ)に在住するピアニスト の演奏を実施した。地域でコーラス活 動を楽しむ地元シニアグループのコー ラスを行った。 地域に住む高齢者を招待して、子ども たちと音楽を通じて交流を図った。	①青少年健全育成、自治会の連携、社 会福祉協議会への理解等、住民の連 帯意識、心のふれあい、共助、支えあ いの意識の高揚が図られた。 ②子どもたちとの交流と文化の理解が 得られた。 ③共演者への記念品のもとになる玉子 のカラを地域全体で作成・収集したこと により、共助の連帯意識の高揚が図ら れた。 ④会場づくりおよび準備を地域と学校 の連携によって行ったことにより、相互 理解が深まった。	①実行に向けた準備会議、実施事項の 確認と役割分担、打合せの全体会議な ど地域の多くの人たちが集まり、熱心 に討議して相互の理解を深められた。 ②特別出演もあり、10周年記念とし ての事業は成功したと考えられる。出 演者など約470人、一般参加、役員など 870人、合計1430人の参加数は特筆 される。 ③記念品づくり等、こどもセンター職員 による力が大きかった。 今後、地域全体で考えていきたいと考 えている。	H23.10.14	580,000
FCボランティア	相模原警察署前交差 点植栽帯清掃美化事 業	国道16号の相模原警察署前はさくら まつりのスタート地点であるとともに相 模原市役所の玄関口とも言える場所、 この場所を除草、清掃し花苗を植えるこ とによって環境美化を図るとともに1年 を通して自転車で通る人や国道16号 線の利用者にほっとし和やかな気持ち になれる場所としたい。	11月10日 アプトカレッジ介護職基礎 研修科生と球根・花苗植え、落葉掃き 清掃 12月8・21日 ワタミの介護の介護ス タッフの人達と花壇造成(チューリップ、 ビオラ、パンジー植え) 2月16日 芝桜苗を植えるための花壇 土おこし 除草清掃 (南・中央福祉事務所 自立支援の人達と実施) 3月15日 芝桜苗 潤水都市さがみは らマークにデザイン植え付け	寒さに向かう冬枯れの植樹帯にノース ポール、ビオラ、水仙の花が咲き揃い 前年度にも増して更に通る人達にフツ と心なほせ憩える場所になったと思う。 チューリップの芽がたくさん出てきてお り、さくらまつりの頃には色とりどりの チューリップ・芝桜が咲き揃い華やかに スタート地点を飾ると思う。	草地だった交差点四隅植樹帯に自転 車専用道路ができ、両側に花壇が整備 され、地域活性化事業交付金のおかけ で見違えるほどの花いっぱい華やかな 花壇となり通るひとの心なほやかな憩い の場所ができた。大勢のボランティアの 人達の毎月の参加活動で維持継続で きた。前年度より花壇を延長できた。	H23.10.7	120,000
高根二丁目自治会	高根二丁目自治会 世 代を超えた文化交流	高根二丁目自治会の加入率は60% であり、当自治会の目標である「地域の 子どもから大人までみんな知り合いの 原点に返り、地域の人々の文化的才能を 発表することにより地域の人を知り、交 流を図り、地域で子どもを育てること、 自治会加入促進を目的とする。	高根二丁目自治会館にて、秋の穏やか な晴天に恵まれ、会員家族86名の参 加のもとに行われた。前日より、子ども 達と自治会、子ども会役員が一緒にな り、自治会館を折り紙などで飾り、当日 の昼食になる「けんちんうどん」の仕込 みなどを行った。 当日は、「いけばな」、「書」を大人から 子どもまでみんなで参加し作品を完成 させた。 「講演」は、講師が昔の高根の状況な どをお話しされ、街の移り変わりを感じ ることができた。最後のお楽しみ演芸 は、舞踏、民謡、子どもの合唱で全員で 楽しい時間を過ごし、閉会式をもって終 了した。	社会の変容とともに人間関係も希薄に なり、核家族化や少子高齢化にともな い、子どもに対する考え方も一人ひとり 違ってきている中、地域全体で子どもを 支えていくことが困難になってきている のが現状である。 今回の事業を通じて、世代の枠を超え た交流を図ることができた。このような、 行事を積み重ねることによって、顔見知 りになり、隣近所のつながりができ、コ ミュニティの力、結束力が強まっていくも のであるとの意見もあり、事業成果を十 分にあげることができた。	同じ地域に住む住民同士の相互理解と 日常的なかかわりを深める具体的な実践 とは、世代間交流であると考え、昨年 に引き続いて実施した。 当自治会では、先人から築かれてきた人 と人とのつながり、地域としての一体感 を大切に、誰でも気軽に参加できる雰 囲気づくりや、まず人が集まることに 意義を見出すことを自治会継続の基本 理念としており、今後も楽しく参加 できる事業を計画し、自治会未加入者 や集合住宅居住者への自治会加入促 進にむけた取り組みを実施していく。	H23.11.22	65,000

